

品企業が参入している。世界最大のサプリメントチェーンとして知られる米国のGNCも店舗展開している。

「ショッピングモールやドラッグストアでも売られています」

通販も急速に普及している。昔のインドを思い描く者には驚きたが、少なくとも都市部の発展は目を見張るものがある。調査では現在、イン

ドの健康食品市場は900億円弱だが、近い将来3000億円を超えるまでに成長が見込まれる。

「日本企業の参入するとき」

中国の次はインドの健康食品市場に目を向けるとまがきている。

◆ ◆  
本紙では7月末にインド・中国のセミナーを企画しています。

# オープンカレッジなど 新事業を説明

## AIFN総会・記念セミナー

業界ならびに消費者教育の実践場と位置づけ



で、10年度の総会と記念セミナーを開催し、一般社団法人への移行に関する報告をはじめ、海外会員制度やオープンカレッジといった新事業について説明した。

る「AIFNオープンカレッジ」は、座学・研修を中心とした「セミナー事業」、通信教育を主体にサプリメント専門職を育成する「資格認定事業」を柱とし、今秋より順次オープンしていく。

60人以上が聴講した記念セミナーでは、女子栄養大学の香川靖雄副学長が「さかど薬酸プロジェクトの概要」、消費者庁・食品表示課の相本浩志課長【写真】が「消費者基本計画の概要」についてそれぞれ講演した。

香川氏は、葉酸加工食品が市内各地で販売され、学校給食にも導入されるなど埼玉県坂戸市の葉酸を用いた健康政策が医療費の削減につながり、全国が注目していることを紹介。また、葉酸添加食品によるうつ症状改善効果などを発表した。

相本氏は「食品表示をめぐる主要な論点」とし

て、加工食品の原料原産地表示の拡大、トランス脂肪酸の含有量表示、遺伝子組み換え食品の表示義務、食品の期限表示などについて解説した。

### 第1回総会・記念講演会 を開催

JIHFS

日本健康食品規格協会(JIHFS)は、6月23日に学士会館本館で第1回総会・記念講演会を行った。

大演宏文理事長の挨拶

で始まった記念講演会では、JIHFS顧問の佐竹元吉氏(富山大学和漢医学学総合研究所・客員教授、元国立医薬品食品衛生研究所・生薬部長)が「植物性素材を使用した健康食品の品質管理の考え方と素材としての可

能性」、昭和薬科大学薬物治療学研究室の森山浩義氏が「今話題の素材・II型コラーゲンの現状と将来性」と題して講演を行った。

懇親会では大演理事長らが「GMPが健康食品の信頼性や安全性を高める」「安全性・有効性・品質管理が今後の健康の道を開く鍵になるだろう」などと挨拶した。

グルタミン

な未来へ。

オルニチン